

新しい愛媛県長期計画のアクションプログラム（案）に寄せられた市町意見と県の考え方

	意見概要	県の考え方
第3章 重点的な取組み方針		
西条市	限られた財源の優先的な投入は当然だが、財源の捻出に関する記述がほしい。	毎年度の予算編成過程の中で、財源状況を見極めながら、重点戦略方針を適切に反映させたいと考えています。
第4章 分野別計画		
1 生き活きとした愛顔あふれる「えひめ」づくり ～次代を担う活力ある産業を“創る”～		
活力ある産業づくり		
西条市	販路開拓は、国内にも目を向けるべきではないか。	9月に策定した長期ビジョン編において、海外を含め、域外の活力を取り込むだけでなく、足元である域内を固める方向性を示しており、アクションプログラムでは、地産地消の推進にも取り組む旨記載しており、御意見の趣旨は反映できていると考えています。
施策1 地域に根ざした産業の振興		
今治市	県内企業や商店街に対して支援するとしているが、同じく意欲的に取り組む市町にもご支援いただけるようお願いしたい。	企業や商店街と同様な対応はできませんが、推進姿勢の2（1）の中で、市町に対する相談・サポート体制の構築に取り組むとともに、市町の行政機能の強化を図る旨記載しており、御意見の趣旨に応えられるよう努めてまいります。
松野町	「現状と課題」8行目「期待されている地域コミュニティの場としての」は、「地域コミュニティの場として期待されている」の方がいいのでは。	商店街には、地域コミュニティの場としての機能が期待されていることを明示する意味で、記載しています。
施策2 企業誘致・留置の推進		
今治市	今治市は世界的にも有数の海事関連産業・機関の集積地であるので、愛媛県においても更なる海事関連産業・機関の集積を推進していただきたい。	主な取組み1の中で、「地域特性に応じた業種をターゲットにした誘致活動への取組み」を記載しており、御意見の趣旨に応えられるよう推進していきたいと考えています。
施策4 新産業の創出と産業構造の強化		
今治市	新たなビジネスモデルとして、ソーシャルビジネスやコミュニティビジネスの展開支援を盛り込んでいただきたい。	施策18 未来につなぐ協働のきずなづくりの主な取組み3の中で、「ビジネスの手法も取り入れた地域課題の解決方法や地域雇用の創出への取組み」を記載しており、御意見の趣旨は反映できていると考えています。
西条市	新産業の創出では、企業間のマッチングも必要と思う。	「異業種や異分野等の新たな連携と技術の交流を促進する」と記載しており、御意見の趣旨は反映できていると考えています。

産業を担う人づくり		
今治市	最低賃金の引き上げを盛り込むことはできないか。	最低賃金の引き上げについて対応はできませんが、施策6「快適な労働環境の整備」の中で、「労働関係全般に係る相談に応じることや勤労者への資金貸付といった取組み」を記載しており、これらを通じて労働環境の整備に取り組んでいきたいと考えています。
農林水産業の振興		
施策7 力強い農林水産業を支える担い手の確保		
今治市	有機農業の振興・推進を盛り込んでいただきたい。(施策9「選ばれる産地を目指した技術開発の推進」にも)	技術習得のサポートや生産技術の普及を盛り込み、有機農業も含めた各生産者のニーズに対応しながら、きめ細かなサポートを行っていくこととしています。 また、施策29においても、「食の安全・安心に向けたエコえひめ農産物の生産促進や販売拡大に取り組む」と記載しており、御意見の趣旨は反映できていると考えています。
施策8 攻めの農林水産業を展開するための基盤整備		
今治市	地域の自然環境を守りつつとあるが、魚道の設置などの環境対応型、深水管理のできる畦畔整備など、環境配慮型の整備を進めていただきたい。	取組みの方向において、「地域の自然環境を守りつつ」と記載(施策51の取組みの方向でも「農林水産業と自然の共生を再現するため、景観・自然環境の保全や集落環境の整備に取り組むとともに」と記載)しており、環境への配慮は十分に留意した上で、各地域に応じた整備を進めることとしていることから、御意見の趣旨は反映できていると考えています。
西条市	鳥獣害対策は、「地域の捕獲隊の組織化や狩猟者の育成」という表現があるが、鳥獣被害の防止には、狩猟者による駆除がもっとも有効であるため、「狩猟制度の見直し、関係法令の整備及び狩猟免許取得・更新に対する負担軽減のための支援」等一步踏み込んだ表現にしていきたい。 また、県下の鳥獣の生息数の実態把握がされていないため、生息調査を四国レベルで実施し、対策を立案すべきである。	鳥獣害防止対策は、侵入防止、捕獲の両面からの総合的な対策が必要であると考えています。 なお、四国レベルの対策については、「隣接県との連携捕獲に取り組む」と記載しており、御意見の趣旨は反映できていると考えています。
愛媛ブランドの確立		
施策10 愛媛産品のブランド力向上と販路拡大		
松野町	主な取組み「3 地産地消の推進」の1行目「学校給食等への利用促進」を、「学校給食等への利用促進、食育活動」としては。	地産地消を進めるためには、食育活動の推進が効果的であることから、御意見を踏まえて、次のとおり修正しています。 「学校給食等への利用促進など」 「学校給食等への利用促進や食育活動など、」

施策11 愛媛の魅力発信力の強化		
西条市	大阪にもアンテナショップがあればよいと思う。	県大阪事務所において、県産品の展示・販売を行っているほか、随時、物産展などのイベントも開催しています。
観光立県えひめの推進		
施策12 魅力ある観光地づくり		
西条市	観光面において、愛媛の資源を活用し映画のロケーションの誘致ができないか。	施策11 愛媛の魅力発信力の強化の中で、「ロケ地誘致を推進するフィルムコミッション事業の展開を積極的に支援する」と記載しており、御意見の趣旨は反映できていると考えています。
四国中央市	<p>主な取組み（1 多彩で上質な観光地の形成... また、豊かな自然や伝統文化、産業遺産を活かした体験教育型の観光プログラムの策定や物語性のある観光ルートの開発など、県内各地の観光資源の魅力向上と旅行商品化を図り、リピーターの確保につながる上質な観光地の形成に取り組みます。...）について</p> <p>この点では、施策を具体的に推進する手法を明確に述べて頂きたいと考えます。例えば、「商品化に向けて旅行者と連携し、現地調査や懇談会を開催します。」など。</p> <p>また、重点戦略方針の立案の際には旅行者の開発委託費用や地元協議など、誘客促進事業のメニューを検討していただきたい。</p>	<p>今回の計画は、社会経済情勢の急速な変化等に的確に対応できる柔軟性を持たせるため、原則として、個別具体の取組み内容までは記載せず、施策の方向性などを示すまでにとどめています。</p> <p>御意見の部分は、「プログラム策定やルート開発といった手法を用いる」旨を記載しています。</p> <p>なお、平成24年度重点戦略方針については、全庁的な政策論議を通じて策定し、先般、発表したところですが、次年度以降の策定に当たっても、引き続き、県政を取り巻く環境変化や、当計画の進捗状況、県民ニーズなどを踏まえながら策定していくこととしています。</p>
交流・連携の推進		
松野町	「県内基礎自治体」は「県下20市町」、「近隣自治体」は「近隣県」、「基礎自治体」は「市町」と記載した方が柔らかい感じがするのでは。	<p>御意見を踏まえて、次のとおり修正しています。</p> <p>「県内基礎自治体」 「県内20市町」 「近隣自治体」 「近隣県等」 「相手方の県や基礎自治体」 「相手方の県や市町村」</p>
施策14 広域交流・連携の推進		
四国中央市	<p>取組みの方向（県内基礎自治体等が連携しながら、広域的に対応すべき課題に対して、県がリーダーシップを発揮し、解決に向けた最適な連携体制の構築支援に努めます。）について</p> <p>市町が連携して自主的に取り組むものは、県は後方支援に徹し、市町の求めに応じて県がリーダーシップを発揮する、というのが補完性の原理だと考えるので、そうした表現に改めるべきだと考えます。</p>	<p>御意見を踏まえて、次のとおり修正しています。</p> <p>「広域的に対応すべき課題に対して、県がリーダーシップを発揮し、解決に向けた最適な連携体制の構築支援に努めます。」</p> <p>「広域的に対応すべき課題の解決に向けて、主体的に取り組むことができるよう最適な連携体制の構築支援に努めます。」</p>

四 国 中 央 市	<p>主な取り組み（４ 県民などが行なう交流活動支援）</p> <p><u>「商業や福祉・医療、交通ネットワーク、教育など住民生活の基盤となる機能の相互補完を図るとともに、多様な交流を通じて地域の魅力を向上させるため、観光や物流、産業、文化、学術など様々な分野において交流活動に取り組む県民や団体等の活動を支援します。」</u>について</p> <p>主語がなく、抽象的でわかりにくい表現となっています。例示を挙げている機能の相互補完がイメージしづらいため、この質疑応答の回答の中で構いませんので、「商業」「福祉・医療」「交通ネットワーク」「教育」それぞれについて、「住民生活の基盤となる機能の相互補完を図る」例を具体的に示していただきたいと思ひます。</p>	<p>御意見を踏まえて、次のとおり全文を修正しています。</p> <p>（修正後）</p> <p><u>「地域の魅力を向上させるため、商業や福祉・医療、交通ネットワーク、教育など、住民生活の基盤となる機能の相互補完を図るほか、観光や物流、産業、文化、学術など、様々な分野において多様な交流活動に取り組む県民や団体等の活動を支援します。」</u></p> <p>なお、具体的には、「小売業の宅配サービス時における子どもやお年寄りの見守り・声掛けサービス」や、「通勤・通学バスのコミュニティバスの活用」などを考えています。</p>
交通ネットワーク光立県えひめの推進		
施策 16 広域・高速交通ネットワークの整備		
今 治 市	<p>しまなみ海道の原付・自転車歩行者道の料金無料化についても盛り込んでいただきたい。</p>	<p>主な取り組み 1 の中で、「本四高速道路をはじめとする高速道路等が利用しやすくなるような利用料金の見直し」について記載しており、御意見の趣旨は反映できていると考えています。</p>
松 山 市	<p>離島航路のみならず広域航路（愛媛 - 阪神・中国・九州間）の維持確保についても、どちらかの施策の「主な取り組み」の中に、しっかりと明記していただきたい。</p>	<p>御意見を踏まえて、次のとおり追加しています。</p> <p>3 フェリー・旅客船航路の維持</p> <p><u>「環境負荷の低減につながるモーダルシフトの促進や、大規模災害時における緊急輸送手段の確保等の観点から、本県と関西・中国・九州方面を結ぶフェリー・旅客船航路の維持に努めます。」</u></p>
施策 17 地域を結ぶ交通体系の整備		
今 治 市	<p>主な取り組みの項目に「自転車通行空間の整備」を追加してはどうか。</p> <p>（理由）</p> <p>東北大震災の影響や近年のエコ・健康志向により自転車が都市交通の移動手段として注目を集めているが、自転車専用レーン等のハード面での整備が追い付いていないのが現状である。県下においても自転車をまちづくりに活用している地域もあり、今後も自転車有効活用する方向で社会情勢も推移するものと想定されるため。</p>	<p>主な取り組み 1 に記載している「道路のバリアフリー化や歩道整備の推進」は、地域間の交流・連携を支える自転車道の整備も含めており、御意見の趣旨は反映できていると考えています。</p>
今 治 市	<p>島嶼部住民の生活道路である、しまなみ海道の通行料金の引き下げについて盛り込んでいただきたい。</p>	<p>施策 16 の主な取り組み 1 の中で、「本四高速道路をはじめとする高速道路等が利用しやすくなるような利用料金の見直し」について記載しており、御意見の趣旨は反映できていると考えています。</p>

西条市	目標数値の欄で、現状値と目標値の数値に差がない。整備の推進の必要性がないように受け取れる。	過去の推移や現在の社会経済情勢から、今後、さらなる悪化が見込まれている指標については、4年間の施策効果によって、少しでも悪化スピードを緩和させることを目指して、目標値を設定しています。
松野町	主な取組み「3 公共交通を補う新たな交通システムの構築」の1行目「地域における住民の足を」を「高齢化が進み、交通弱者が増える中で、地域…」としては、	御意見を踏まえて、次のとおり修正しています。 「地域における住民の足を…」 「 高齢化が進み、交通弱者が増える中、地域における住民の足を… 」
2 やすらぎの愛顔あふれる「えひめ」づくり ～快適で安全・安心の暮らしを“紡ぐ”～		
支え合う福祉社会づくり		
松野町	表題を除いて、「障害者」を「障害のある人」に統一してはどうか。 (一般的に文章の中では、障害者より障害のある人といった表現が最近では使われていると思います。例として、115ページでは「障害者」ではなく「障害のある子ども」という表現となっており、全体的に統一すればどうでしょうか。)	「障害」や障害者の「者」にあたる部分の表記の在り方は、国の「障がい者制度改革推進会議」で引き続き審議を行うとされており、現在のところは、改正障害者基本法や国の総合福祉法の骨格提言等においても「障害者」が使われていることから、本計画においては「障害者」を使用することとしています。
健康づくりと医療体制の充実		
施策24 生涯を通じた心と体の健康づくり		
今治市	健康づくりの取組の一つとして、農林水産業と連動した食育の推進を掲げていただきたい。	主な取組み1に記載している「特に、栄養・食生活についての正しい理解を促進するため、家庭や学校、地域等それぞれの役割に応じて、県民のライフステージにあった食育の推進」は、農林水産事業者や食品関連事業者等と連携した食育の推進も含めており、御意見の趣旨は反映できていると考えています。
安全・安心な暮らしづくり		
施策30 水資源の確保と節水型社会づくり		
松山市	「水資源の確保」とは広義の意味を除き、一般的に「新たな水資源を開発すること」を指すと思慮します。そこで、「水資源の有効活用や保全」と「確保」との関連の記述を追加されるか、「取組みの方向」にある「総合的な水資源管理」とされる方が適切ではないでしょうか。	施策名における水資源の確保とは、新たな水資源の開発のみを意味したのではなく、広い意味で、水資源の適切な管理により水不足の不安がない状態を確保する必要性を表現したものです。 なお、施策名は分かりやすい簡明な表現に努めるため、「水資源の確保」としています。
松山市	「現状と課題」において、6行目「…水需要は、人口の減少や湧水対策への県民意識の高まりを受け、近年は低下傾向にありますか、…」のうち、「湧水対策」と「低下傾向」の因果関係がわかりにくいと思慮します。そこで、「湧水対策への県民意識の高まり」よりは、「節水への県民意識の高まり」とされる方が適切ではないでしょうか。	御意見を踏まえて、次のとおり修正しています。 「湧水対策への県民意識の高まり」 「 <u>節水</u> への県民意識の高まり」

<p>施策31 交通安全対策の推進</p>		
今治市	<p>しまなみ海道がサイクリストの聖地として認知されてきているものの、市街地等の自転車通行環境は、自歩道や自転車通行不可の歩道等が入り乱れて設置されており、良いとは言えない。10月の警察庁通達に則した自転車通行環境の整備（車道の左側通行サインや自転車専用信号の整備、自歩道・自転車横断帯の撤去等）について盛り込んでいただきたい。</p>	<p>自転車に関わる交通事故への対策の必要性については認識しており、主な取組み3の中で、「利用者に対する安全意識の啓発、違反行為に対する取締りの強化とともに、交通量の多い場所でも安全に走行できる自転車通行環境の整備」について記載しており、御意見の趣旨は反映できていると考えています。</p> <p>なお、歩道の整備についても、施策17の主な取組み1の中で、「道路のバリアフリー化や歩道整備推進」といった取組みを記載しており、御意見の趣旨は反映できていると考えています。</p>
西条市	<p>交通安全では、高齢者のための教育の推進のみならず、全県民を巻き込んだ教育の推進が必要である。</p>	<p>高齢者については、自転車事故が多いことを踏まえて、主な取組みで具体的に記載しています。</p> <p>なお、全県民を巻き込んだ交通安全教育の推進については、取組みの方向に「関係機関・団体等が協力して広報・啓発活動や交通安全教育を実施することにより、県民一人ひとりの交通安全に対する意識の高揚を図る」と記載しており、御意見の趣旨は反映できていると考えています。</p>
<p>災害に強い県土づくり</p>		
<p>施策34 防災・危機管理体制の充実</p>		
松山市	<p>防災対策の基本は、「自助7割」、「共助2割」、「公助1割」といわれ、行政として対応できる施策にも限界があるものの、「公助」を最大限に生かすためには、県・市町間の連携は必須であります。東日本大震災の現状について、災害と障がい者の関係について話し合われた、内閣府設置の障がい者制度改革推進会議（第32回、平成23年5月23日開催分）でも、市町村と県との連携がとれていない状況が詳細に報告されております。災害時要援護者対策において、県・市町間の日常からの連携が密になされているかという現状を省みると、このような縦割りの行政のマイナス面が、災害時の対応に遅れをもたらす要因の一つになると考えられます。そこで、「主な取組み」において、災害時要援護者対策に係る市町との連携について加えていただきたい。</p>	<p>災害時要援護者対策の避難支援については市町が取り組む事項であるが、県としても市町を支援する必要があることから、施策34の主な取組み5の中で「災害時要援護者支援において中心的役割を果たす防災士の養成」について記載していますが、例示にもありますように「障害者」については、その種別ごとのニーズが多様であり、地域において特段の配慮、方策の検討が必要であることから、御意見を踏まえて、施策22 障害者が安心して暮らせる共生社会づくりにおいて、次のとおり追記しています。</p> <p>（取組みの方向）</p> <p>「…市町等関係機関と連携しながら、…さらには、<u>地域における災害時の支援体制の整備促進に努める…</u>」</p> <p>（主な取組み 1）</p> <p>「…災害時支援対策を講じるなど、障害者が安心して暮らすことのできる地域社会づくりを促進します。」</p>
<p>施策35 災害から県民を守る基盤の整備</p>		
今治市	<p>県と今治市はそれぞれ建設業協会と災害時における応援協定を結んでいるが、大規模災害発生時には建設業協会に対して県と市の応援要請が重なる場合があるので、災害復旧への迅速な対応についてご検討いただきたい。</p>	<p>主な取組み3に記載している「災害発生時の応急対策に関する企業との連携体制の強化」は、建設業協会との連携強化も含めており、御意見の趣旨も踏まえ、建設業協会との連絡等を密に取りながら、スムーズな災害復旧が行われるよう努めていきたいと考えています。</p>

3 輝く愛顔あふれる「えひめ」づくり ~未来を拓く豊かで多様な『人財』を“育む”~		
未来を拓く子どもたちの育成		
西条市	教育面では、学校間の連携も重要と考える。	「学校間の連携」も含めて、「学校や家庭、地域が連携・協力してつくる安全で充実した教育環境」と記載しており、御意見の趣旨は反映できていると考えています。
施策 41 教職員の資質・能力の向上		
西条市	成果指標に「研修を受講した教員による授業への活用度」があるが、研修は、全て児童生徒へ還元することを踏まえると、目標値がもう少し高くてもよいと思う。	成果指標の目標値については、過去の実績や、既に比較的高い水準に達している点などを踏まえ、4年間で10ポイント程度の上昇を目指すことを目標に設定しており、適正であると考えています。
生涯学習と文化の振興		
西条市	愛媛の偉人について学ぶことによって、愛媛県、郷土への愛情が育まれる。これは、各地域での先人について学ぶことと共通しているため、「(3)生涯学習と文化の振興」のどこかにその表現が必要だと思う。	施策 42 学び合い高め合う生涯学習社会づくりの主な取組み1 自立的な学びへの支援の中に、「...県民自らが愛媛らしさを探究する地域学(愛媛学)の普及推進...」と記載しており、御意見の趣旨は反映できていると考えています。
4 やさしい愛顔あふれる「えひめ」づくり ~調和と循環により、かけがえのない環境を“守る”~		
環境と調和した暮らしづくり		
施策 46 環境教育・学習の充実と環境保全活動の促進		
西条市	成果指標の「小中学校における環境教育年間指導計画策定率」はやや低いように思う。(もう数パーセント高くてもよいのではないか。) また、高校生に関する記述もはっきりすべきではないかと思う。高校でも環境教育について触れており、高校生は地域のリーダーになる存在と思う。	成果指標の目標値については、過去の実績を踏まえ、教育課程研究集会等を通じて指導を強化することにより、毎年1ポイント程度の上昇を目指すことを目標に設定しており、適正であると考えています。 なお、主な取組み1 学校・地域等における環境教育・学習の充実に記載している「学校での総合的な学習」には、高校生に対する環境教育も含めており、御意見の趣旨は反映できていると考えています。
西条市	環境保全活動では、企業の社会貢献活動の推進をテーマに掲げることも重要である。	主な取組み3 多様な主体との協働による環境保全活動の促進の中に「環境活動団体、事業者、行政など、多様な主体が連携して環境保全活動に取り組む環境パートナーシップの構築に向け、自主的な環境保全活動等を促進する」と記載しており、御意見の趣旨は反映できていると考えています。

第5章 地域別計画		
圏域の考え方		
四国中央市	<p>市町村合併の進展や、道路や情報通信網などの社会基盤整備の拡充に伴う生活圏域や経済圏域の広域化に加え、地方分権の実現に向けた連携強化や機能分担の必要性の高まりなど、行政課題の多様化や広域化への適切な対応が求められていることから、<u>広域行政の中核拠点としての役割を担う東予、中予、南予の3地方局が管轄する地域を、一体的な地域づくりを推進する圏域として設定</u>しています。</p> <p>この点については、東予、中予、南予ともにそれぞれ一つの地域を形成してきた歴史があり、地方局の管轄する地域で圏域設定したという表現は少し乱暴な印象を受けます。3つの地方局を各エリアに設置した考え方の観点から記述すべきと考えます。</p>	<p>前段に記載している「市町村合併の進展や、…地方分権の実現に向けた連携強化や機能分担の必要性の高まり…」の部分は、平成20年4月の地方局再編の考え方も踏まえ、今後10年後の地域の姿を見据えながら、圏域の考え方を記載しています。</p>
東予地域		
西条市	<p>地域資源を活かした観光交流として「食」を切り口にした記述を加えてほしい。</p>	<p>御意見を踏まえて、次のとおり修正しています。</p> <p>広域観光ルートの構築において 「…人材の育成を図るとともに、新たな土産品の開発や滞在時間の延長…」</p> <p>「…人材の育成を図るとともに、<u>地域資源を活かした土産品、「食」の開発や滞在時間の延長…</u>」</p> <p>なお、地元食材等を活かした「食」については、観光資源の一つとして重要であると認識しており、県の観光振興基本計画において、「食」を切り口とした観光振興施策に取り組むこととしています。</p>
四国中央市	<p>地域の課題（中核企業を支える高い技術力を有する中小企業が多く集積していますが、…また、<u>域内企業の多くが下請けに甘んじてきた傾向があり、異業種との交流や独自の研究開発、販路開拓などに、もっと積極的に取り組み、企業体質の強化を図る必要があります。</u>）について</p> <p>「多くが下請けに甘んじてきた傾向があり、」とありますが、下請けがマイナスイメージと誤解を招くような記述は適切でないと思われるため削除すべきと考えます。</p>	<p>御意見を踏まえて、次のとおり修正しています。</p> <p>「…<u>域内企業の多くが下請けに甘んじてきた傾向があり、…</u>」</p> <p>「…<u>域内企業には、下請け体質から脱却できていない傾向もあり、…</u>」</p>
西条市	<p>「勇壮な祭り」の表現について。かつて愛媛県と西条市、新居浜市が一致協力して、西条祭りと新居浜祭りを「日本一の祭り」としてPR事業等に取り組んだ実績がある。単に「勇壮な祭り」という表現で済ませるのではなく、もっとアピールしてはどうかと思う。</p>	<p>御意見を踏まえて、次のとおり修正しています。</p> <p>「勇壮な祭り」</p> <p>「<u>豪華絢爛なだんじり、勇壮華麗な太鼓祭り</u>」</p> <p>なお、西条祭りと新居浜太鼓祭りは重要な観光資源として認識しており、今後、観光振興施策として、これら祭りも含めPR方法等を検討すべきものと考えています。</p>

<p>四 国 中 央 市</p>	<p>地域の課題（自転車でも歩いても渡れるしまなみ海道、西日本最高峰の石鎚山、近代化の歴史を物語る別子銅山産業遺産、勇壮な祭り、紙文化など、他に誇るべき観光資源は豊富にあるものの、全国的な知名度は低く、本州から松山・道後温泉に入る動線上にある立地を活かした観光振興を図る必要があります。）について</p> <p>基本構想（案）の意見提出において「地域づくりの方策」に係る東予地域の記述に対し、「紙文化」という文言の加筆修正をお願いした経緯があります。県の回答では、「紙文化」という記述だけでは、正確に理解されない可能性もあると考えられることから、今後、アクションプログラムの中で、記載を検討してまいりたい」との回答でありました。歴史につなげた言葉として「紙文化」としていたところですが、本文の文章表現が変わっているにもかかわらず表記は「紙文化」のみとなっています。</p> <p>例えば、「自転車でも歩いても渡れるしまなみ海道、西日本最高峰の石鎚山、近代化の歴史を物語る別子銅山産業遺産、勇壮な祭り、紙文化に関わるイベント・施設など」等の記述に修正をお願いしたい。</p>	<p>御意見を踏まえて、次のとおり修正しています。</p> <p>「紙文化」</p> <p>「<u>水引き細工等伝統的な紙文化</u>」</p>
<p>四 国 中 央 市</p>	<p>四国中央市では、国道11号が製紙関連車両の通行により渋滞が緩和されておらず、R11BP、臨港道路建設が急がれます。産業発展・防災の面からも喫緊の課題となっていることから、「産業の集積地では、住工分離を計画的に進めてきましたが、依然、生活路線の慢性的な渋滞が緩和されておらず、産業道路の整備が必要となっています。」を追記すべきと考えます。</p>	<p>国道11号の渋滞緩和は、東予地域全体を貫く幹線道路として重要な課題であることから、御意見を踏まえ、次のとおり修正しています。</p> <p>交通ネットワークの充実において</p> <p>「今治小松自動車道の早期全線開通など主要道路の整備や…」</p> <p>「<u>今治小松自動車道の早期全線開通や国道11号の渋滞緩和対策などの主要道路整備や…</u>」</p> <p>なお、産業発展、防災対策の視点からの主要道路の整備については、県として重要な課題と認識しており、分野別計画「施策16 広域・高速交通ネットワーク」、「施策35 災害から県民を守る基盤の整備」において取り組むこととしています。</p>
<p>四 国 中 央 市</p>	<p>企業留置による雇用の確保（産業集積の中核となっている企業が生産拠点を海外等に移転することを防止するため、立地存続に必要な港湾、道路等のハード整備に取り組むとともに、企業ニーズを把握し、企業の立場に立ったフォローアップを行うことにより企業留置に努め、雇用の場の確保を図ります。）について</p> <p>中予では「新たな企業誘致にも取り組みます。」南予では「企業誘致を推進します。」との記述があるが、東予は「企業留置」とその取り組みに大きな開きを感じます。産業振興を図るためには、地場産業の振興、企業誘致、創業支援が必要であり、企業留置だけでなく企業誘致・創業支援についても記述すべきと考えます。</p>	<p>円高の急激な進展やデフレの長期化などを背景に、中核となっている企業が生産拠点を海外等に移転する動きがある中で、産業集積地という地域の特性を考えると、企業誘致ももちろん重要ですが、まずは、企業の留置対策に取り組む必要があると考えています。</p> <p>なお、企業誘致、創業支援については、県全体の重要な課題と認識しており、分野別計画「施策2 企業誘致・留置の推進」、「施策4 新産業の創出と産業構造の強化」において取り組むこととしています。</p>

今治市	<p>しまなみ地域の活性化において、スローサイクリング サイクリングに修正いただきたい。</p>	<p>地域との交流人口の拡大や地域経済への波及を目的として、潮流体験や漁家民宿など、グリーンツーリズムを体験しながら周遊する、滞在型のサイクリングの普及に焦点を当てて「スローサイクリング」と表記していましたが、この趣旨をより分りやすくするため、「周遊・滞在型のサイクリング」に修正しています。</p>
四国中央市	<p>社会的弱者を支えるコミュニティ力の充実（子どもや高齢者、障害者などが周囲に支えられ、住み慣れた街で、生涯、安心して暮らすことができる地域社会づくりを支援します。）について</p> <p>文章的に漠然とした感があり、アクションプログラムであるなら、もう少し具体的な方針が読み取れる内容にすべきと考えます。</p>	<p>福祉を取り巻く環境は、地域ニーズや地域特性に応じ千差万別であるため、包括的な表現にならざるを得ませんが、社会的弱者を支えるコミュニティ力の育成は、福祉行政の重要な課題であると考えており、住民の意向や基礎自治体である市町の工夫を活かした福祉社会づくりを支援していきたいと考えています。</p> <p>このことは、特に、東日本大震災の教訓を今後活かした取組みの一つであると考えています。</p>
四国中央市	<p>地域内連携の推進（共通する地域課題に対応し、都市機能のより一層の強化を図るため、管内の市町はもとより経済関係団体を始め各種団体の地域内連携を推進します。）について</p> <p>基本構想P10における「医療・福祉などの生活基盤を始めとする様々な都市機能を互いの連携により更に高める」ための方策の一つが、「地域内連携の推進」だと思われませんが、どのような取組みを行うことを予定しているのかご教示願います。</p> <p>現在実施している「東予地方局政策懇談会」との関係をご教示願います。</p> <p>また、地域内連携の推進により、どのように「都市機能のより一層の強化を図る」のか、その道筋を具体的にご教示願います。</p>	<p>連携のあり方については、様々な分野における施策の具体化を図る上で、今後、個別に検討すべきものと考えています。</p> <p>地域政策懇談会は、地方局予算の編成等、県の施策を有効に推進するため、各界各層の地域代表者から地域課題に対する意見要望等を聴取する場として開催することとしています。</p> <p>一般論として、例えば、地域内の医療・福祉機関では、それぞれ特性のある専門機能を有しており、それら機能を相互に連携・補完することで、地域内の医療・福祉サービスの向上に繋げていくことができると考えています。</p>
今治市	<p>交通ネットワークの充実において、しまなみ海道通行料金の引き下げについて記載いただきたい。</p>	<p>しまなみ海道の料金引き下げについては、分野別計画「施策16 広域・高速交通ネットワークの整備」の主な取組み1の中で、「本四高速道路をはじめとする高速道路等が利用しやすくなるような利用料金の見直し」について記載しており、御意見の趣旨は反映できていると考えています。</p> <p>なお、地域別計画では、四国最大の産業拠点として、東予地域のさらなる産業の発展、或いは、防災対策などの視点に立ち、必要な取組みを記載していますので、御理解願います。</p>

西条市	<p>国道11号の道路改築は事業化から30年を超えるものもあり、現道交通環境も悪くものづくり産業に支障をきたしているため、事業明記をして道路事業を推進すべきである。また、地震時の復旧支援のための海上輸送の重要性から重要港湾整備を明記すべきであるとの認識の下、次の点の追加を考慮していただきたい。</p> <p>【具体的に】</p> <p>(原案)今治小松自動車道の早期全線開通など主要道路の整備や離島間をつなぐ上島架橋を推進するとともに、鉄道、バス、島しょ部をつなぐ航路など、</p> <p>(以下、下線部分を追加要望)今治小松自動車道の早期全線開通、<u>国道11号の渋滞緩和・環境保全のため川之江・三島バイパス、新居浜バイパス、小松バイパスなどの主要幹線道路の早期整備や離島間をつなぐ上島架橋を推進するとともに、</u>鉄道、バス、島しょ部をつなぐ航路および重要港湾の早期整備など</p>	<p>国道11号の渋滞緩和は、東予地域全体を貫く幹線道路として重要な課題であることから、御意見を踏まえ、次のとおり修正しています。</p> <p>交通ネットワークの充実において 「今治小松自動車道の早期全線開通など主要道路の整備や…」</p> <p>「<u>今治小松自動車道の早期全線開通や国道11号の渋滞緩和対策などの主要道路整備や…」</u>」</p> <p>なお、防災対策の視点からの港湾整備については、県として重要な課題と認識しており、分野別計画「施策35 災害から県民を守る基盤の整備」において取り組むこととしています。</p>
四国中央市	<p>交通ネットワークの充実(今治小松自動車道の早期全線開通など主要道路の整備や離島間をつなぐ上島架橋を推進するとともに、...)について、次のとおり修正してはどうか。</p> <p>今治小松自動車道の早期全線開通や産業道路などの主要道路の整備拡充や離島間をつなぐ上島架橋を推進するとともに、...</p> <p>(理由)</p> <p>四国中央市では産業の発展、防災対策、まちづくりのためにはR11BP、臨港道路の整備が必要な時期にきています。</p>	<p>国道11号の渋滞緩和は、東予地域全体を貫く幹線道路として重要な課題であることから、御意見を踏まえ、次のとおり修正しています。</p> <p>交通ネットワークの充実において 「今治小松自動車道の早期全線開通など主要道路の整備や…」</p> <p>「<u>今治小松自動車道の早期全線開通や国道11号の渋滞緩和対策などの主要道路整備や…」</u>」</p> <p>なお、産業発展、防災対策の視点からの主要道路の整備については、県として重要な課題と認識しており、分野別計画「施策16 広域・高速交通ネットワーク」、「施策35 災害から県民を守る基盤の整備」において取り組むこととしています。</p>
四国中央市	<p>交通ネットワークの充実(...住民ニーズに応じた福祉バスやデマンド交通(乗合タクシー)などを適切に組み合わせることにより、まちづくりの基盤となる交通ネットワークの充実に取り組みます。)について</p> <p>「住民ニーズに応じた福祉バスやデマンド交通(乗合タクシー)などを適切に組み合わせることにより、」は、主語がありません。市町が取り組むことを想定しているのであれば、その旨明示するとともに、なぜこのような取組みを進めると考えたのか市町に説明をしていただきたいと考えます。</p>	<p>高齢化が進み、交通弱者が増える中、地域における住民の足を確保するため、地域住民や企業、市町と連携しながら、コミュニティバスやデマンド交通(乗合タクシー)などの新たな交通システムの構築を進めていきたいと考えています。</p> <p>なお、今回の計画は、社会経済情勢の急速な変化等に的確に対応できる柔軟性を持たせるため、原則として、個別具体的取組み内容までは記載せず、施策の方向性などを示すまでにとどめていますが、具体の事業化を進めるに当たっては、必要に応じて、適切な手続きを進めることとしています。</p>

四国中央市	<p>都市環境づくりの推進（地元企業及び地域住民との連携・協力による中央分離帯の防草対策など、創意工夫による維持管理手法により、コストの縮減を図り、道路施設等の効率的・効果的な管理に努めながら、快適で安全な都市環境を維持します。）について</p> <p>都市環境づくりの重点的に推進する施策として防草対策など管理手法について、企業や地域住民との協働についての記述がありますが、ここでは「都市機能の充実」について記載されるべきであり、アクションプログラムとするには少し取組が弱いのではないかと考えます。</p>	<p>都市環境は、一般的に都市に関する交通、防災、環境、福祉分野など、幅広く捉えられていますが、地域別計画における都市環境づくりの推進は、地域と協働したまちづくりや地域住民にとって身近な生活環境の整備を趣旨としており、現在、取組みを始めた中央分離帯の防草対策を例示的に記述したものです。</p>
第6章 推進姿勢		
1 既存システムの改革に向けた大胆かつ果敢な“挑戦”		
(1) 地方分権改革の実現に向けた挑戦		
四国中央市	<p>文中「...県自らも「自主・自立のえひめ」を目指して、一層の行政改革に取り組んでいきます。」について</p> <p>県の規制については隣の香川県に比べると5倍の格差がある基準（ ）もあり、やはり県自らがその見直しを図ることが、県民、企業等の活動の支援にもつながると考えます。えひめ夢提案の推進や、県の規制見直し・緩和を推進していく記述をお願いしたい。</p> <p>例 県環境影響評価条例において環境アセスメントの対象となる廃棄物処理施設（焼却施設）の基準</p> <p>愛媛 処理能力50t/日以上 香川 処理能力250t/日以上</p>	<p>御意見を踏まえて、次のとおり修正しています。</p> <p>2 最大の効果を生み出すネットワーク構築に向けた“連携”</p> <p>(2) 多様な主体との協働・連携</p> <p>「新たな施策展開につなげるほか、様々な主体がそれぞれの特性や強みを活かして...」</p> <p>「新たな施策展開につなげるほか、さらなる規制緩和の推進などにより、多様な主体がそれぞれの特性や強みを活かして...」</p>
その他		
西条市	<p>「障害者」の表記は「障がい者」という表記が望ましいと思う。</p>	<p>障害者への差別、偏見を助長しかねないとして、複数の案が出されている「障害」の表記については、現在、国の「障がい者制度改革推進会議」で引き続き審議を行うとされており、現在のところは、改正障害者基本法や国の総合福祉法の骨格提言等においても「障害者」が使われていることから、本計画においては「障害者」を使用することとしています。</p>
西条市	<p>見える化（視覚に訴えるものとしての写真、イラスト、グラフ等）の配慮がほしい。</p>	<p>御意見のとおり、冊子においては、写真やイラスト、グラフを掲載することとしています。</p>
西条市	<p>政策を具現化するためには「人づくり」「人材(人財)マッチング」が重要であるので積極的な記述をお願いしたい。</p>	<p>御意見のとおり、これからの愛媛を支える人づくりは大変重要であると考えており、4つの愛顔づくりの1つに「未来を拓く豊かで多様な『人財』を“育む” 輝く愛顔あふれる「えひめ」づくり」に取り組むこととし、分野別計画のそれぞれの施策の中で、地域や団体、企業等との連携・協力を推進する取組みを記載しています。</p>

<p>四国中央市</p>	<p>目標値が現状値と同じ数値、また下回るもの、前年度対比值等、現状と課題にその根拠となる記述が無いため非常に理解し難いと思われます。</p> <p>施策によっては将来現状より悪化するものは現状維持を目標にすることもあり、また場合により現状値を下回る目標値を設定するものもあると想定されますが、「現状と課題」「取組みの方向」と、「目標」との関連が読み取れるような記述、もしくは目標値の備考欄に考え方を示すことにより県民にわかりやすい表記にすべきだと考えます。</p>	<p>御意見のとおり、冊子においては、巻末に指標の説明一覧を掲載することとしています。</p>
<p>四国中央市</p>	<p>主語が無い文章は、誰が何をやるのかわかりにくくなっていますので、主語を記載するよう全般的に見直しをお願いします。中には市町が主語になるようなものも見受けられ、取組主体を明確にするためにも主語を記載すべきだと考えます。</p> <p>そして特に「主な取組み」のうち、市町が主語になるものがあれば、県において一方的に記載するのではなく市町の担当部局へ県から事前に説明を行っていただきたいと考えます。</p>	<p>愛媛の未来づくりプランは県の計画であり、原則、県が取り組む内容について記載しています。</p> <p>ただし、事業実施に当たっては、市町はもとより、県民や企業、団体などを含め、オールえひめで取り組む必要がありますので、愛媛の力を結集して推進していきたいと考えています。</p>